

学校企画実施計画書

1. 応募するプロジェクト名

学校企画

2. 企画テーマ名称

ネットワークを活用した小学校国語科学習指導
保護者・地域と協働で文学作品を読む

3. 企画のねらい

- ・本企画は、小学校国語科学習指導にコンピュータネットワークを組み込むことにより、保護者や地域に開かれた、子どもたち一人ひとりの主体的な読書活動を実現することをめざす。
- ・少人数集団による効果的な指導をおこなうため、学級担任以外に2名の加配教員と図書館司書を配置し、保護者や地域ボランティアとともに学習を企画・運営していく。
- ・本企画では、子どもたち自身が学習活動を意識的に営むための「読みや活動の蓄積」、情報を分かち、高めるための「学習者どうしの伝え合い」、生涯学習をも視野に入れた「保護者・地域との交流」の3点を重視している。これらの3点は、これからの国語教育の中心に位置づくと考えられるものであり、その活性化の鍵を握ることになるであろうコンピュータネットワークの有効性について授業実践をとおして検証していきたい。

読みや活動の蓄積

学習者どうしの伝え合い

保護者・地域との交流

4. 企画の概要

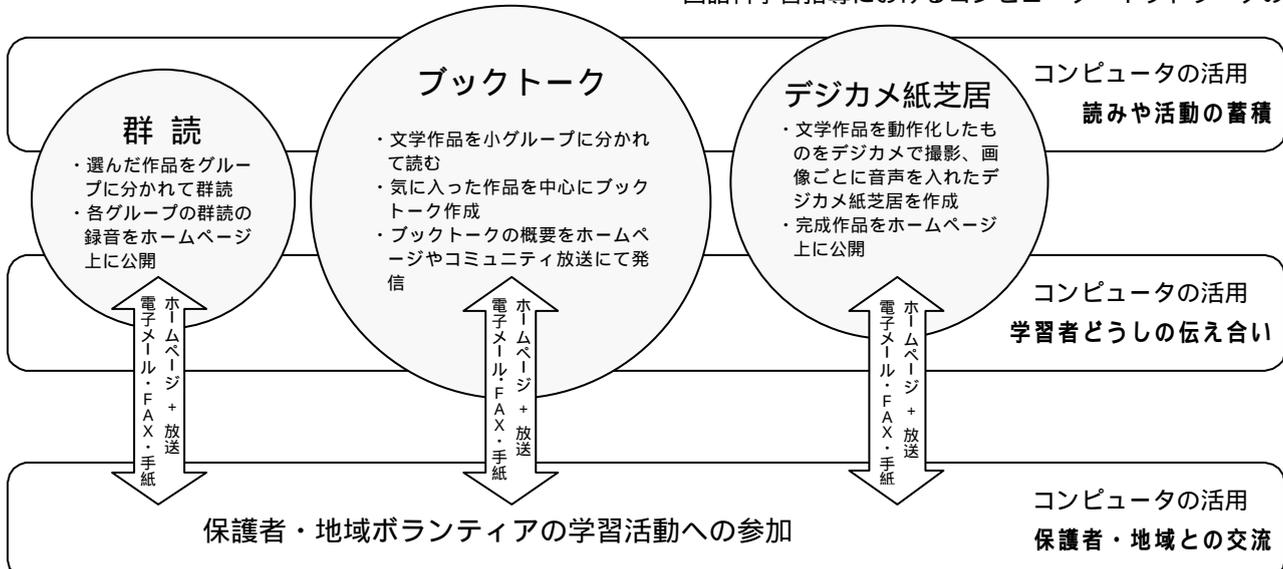
(1) 対象

小学校3年生・4年生、国語科

(2) 実施内容

保護者・地域と協働で文学作品を読む

- ・T.T2名と担任、学校図書館司書による少人数授業
- ・保護者・地域ボランティアの学習企画段階からの参加とサポート
- ・国語科学習指導におけるコンピュータネットワークの



- ・本企画においては、活動のさまざまな場面において、コンピュータネットワークを活用していく。まず、子どもたち自身が学習活動を意識的に営むための「読みや活動の蓄積」については、フロッピーディスクや電子掲示板上の学習の記録が中心となる。情報を分かち高めるための「学習者どうしの伝え合い」においては、電子掲示板やホームページなどに互いの読みを書き込んで交流する。生涯学習をも視野に入れた「保護者・地域との交流」としては、FM放送やケーブルテレビなどの地域コミュニティメディアも組み込みながら、ホームページや電子メールを活用した交流をおこなう。また、校内放送による群読の発表、液晶ビデオプロジェクターを使ったブックトークやデジカメ紙芝居の発表会などにより、他学年の子どもたちの参加もはかっている。

5. 実施体制

(1) 実施体制

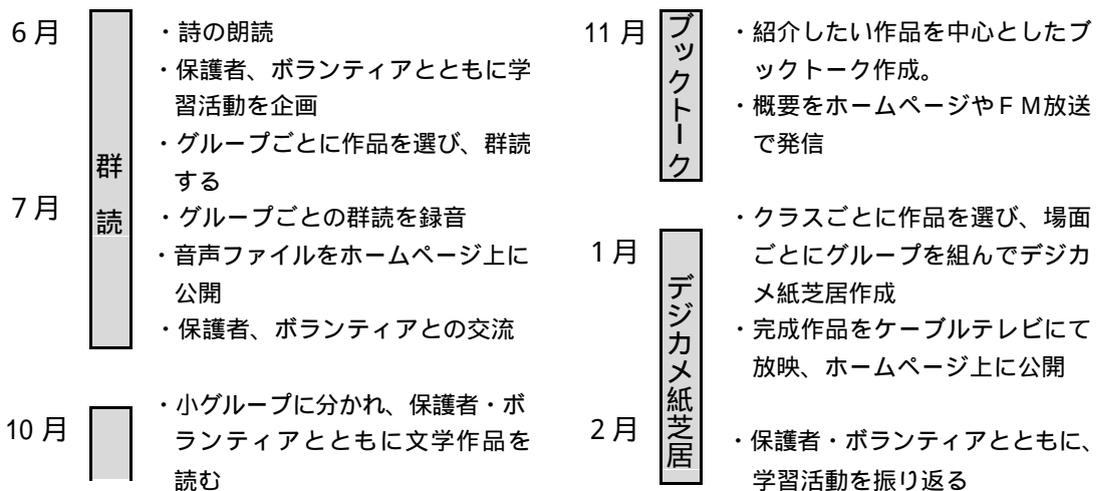
《指導者》

- ・3年担任(3名) 4年担任(2名) T.T(2名) 学校図書館司書(1名)

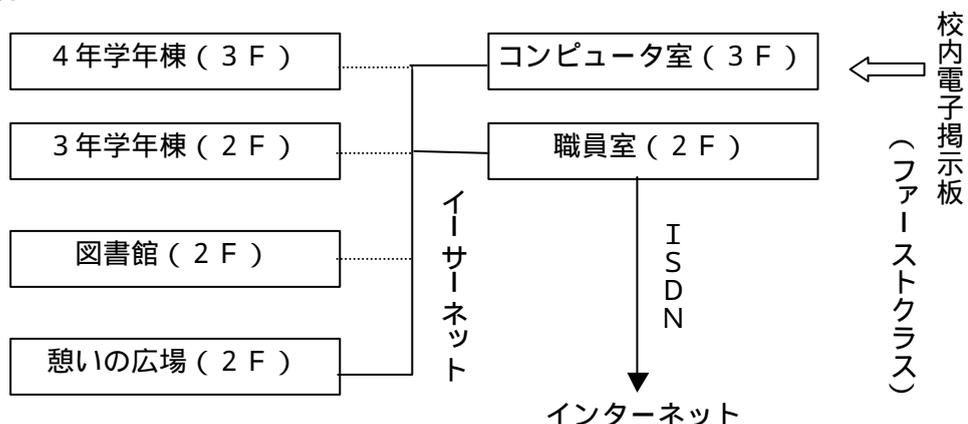
《協力者》

- ・保護者・ボランティア 学習活動の企画、読書指導のサポート、読みや作品へのコメント
- ・箕面市メールボランティア 読みや作品へのコメント

(2) 実施スケジュール



(3) 実施環境



実線は配線済み、点線はEスクエア予算で配線予定